

平成 29 年度 経済産業部 施策の基本方針

山地災害に強い森林づくり

- ・治山事業による山地災害対策を推進。海岸防災林は「静岡モデル」と連携した再整備を進める。

「場の力」を活用した地域経済の活性化

- ・マーケティング戦略に基づく国内外の販路拡大、新概念のアンテナショップ設置を検討する。
- ・「場の力」である地域資源の魅力を最大限に発揮する「食」、「茶」、「花」の都づくりを進める。
- ・「食の都」では、“和の食”を推進し、我が国の食文化をリードする地域づくりを進める。
- ・「茶の都」では、需要の変化に応じた生産構造の改革に取り組むとともに、「ふじのくに茶の都ミュージアム」を整備し、本県の茶の産業、文化、学術を国内外に発信する。
- ・「花の都」では、高校生等フラワーデザインコンテストの開催や、企業での花の活用を進める。

次世代産業の創出

- ・成長分野への参入を促進するため、静岡新産業集積クラスター（ファルマ、フーズ、フォトン）を推進する拠点機能の強化、次世代自動車や I o T に対応した電子部品開発の支援拠点を整備する。さらに、航空機、CNF（セルロースナノファイバー）など次世代産業を創出する。
- ・「オープンイノベーション静岡」を中心に産業界や金融界と一体で、地域企業を集中的に支援する。
- ・新たな企業の立地と県内への定着に向けた取組を強化する。

次代の産業を拓く人材育成と就業環境の整備

- ・人材の確保・育成と働く誰もが活躍できる環境づくりを実現するため、本県独自のプランを策定し、具体的な施策に取り組む。
- ・成長産業分野へ事業展開を目指す企業を対象に最先端技術の訓練を実施する。
- ・県外の学生等若者の就業支援や、首都圏の優秀な人材確保に向けた「プロフェッショナル人材戦略拠点」運営など、県内企業の人材確保を支援する。

豊かさを支える農林水産業の強化

- ・市場を指向した農林水産業の生産・販売力を強化する。
- ・県内外の学術・研究機関や企業等が協創した革新的な栽培技術開発や、農工が連携し農業用ロボットの開発に取り組むなど、農業の生産性向上を図る。
- ・ビジネス経営体を担う農業者を育成する専門職大学の開校準備を進める。
- ・県産材の安定供給のため、伐採、搬出、流通、加工、販路開拓を支援する。
- ・首都圏に向け県産材の品質や供給力を PR し需要喚起に取り組む。
- ・水産業の体質を強化するため、新鮮で付加価値の高い水産物の新たな流通体制づくりに取り組む。

豊かさを支える地域産業の振興

- ・県内企業の技術力の強化、経営力の向上を図るため、経営革新制度の積極的な活用を促進する。
- ・小規模企業が行う工夫・改善の取組や広域サポートセンター設置など小規模企業の支援を強化する。
- ・I o T の利活用を促進し、企業の技術力や経営力の向上を図る。
- ・デザインを活用した商品開発を進めるなど、産業の高付加価値化を図る。

エネルギーの地産地消の推進

- ・太陽光発電やバイオマスなどの利活用を促進し、エネルギーの地産地消を推進する。
- ・I o T 技術を活用した新たな電力需給システムの構築に取り組む。

森林の適正な整備と保全による「森林の都」づくり

- ・森林の適正な整備と保全を図るため、森林・林業の基盤整備を進める。